

第2回 品川区地域福祉計画策定委員会  
議事概要

日 時 : 平成30年8月8日(水) 午後2時～4時  
場 所 : 品川区役所 第二庁舎 251～253会議室  
出席者 : 別紙「第2回品川区地域福祉計画策定委員会出席者名簿」のとおり

---

<第1部>

1. 中川原副区長あいさつ

2. 菱沼委員長あいさつ

3. 委員紹介

4. 議題

(1) 品川区の地域福祉に関するご意見について

- ・事務局より資料1、2について説明
- ・菱沼委員長より資料1の趣旨補足説明

計画策定を進めるにあたり、住民の生活問題に即した検討が必要。区民アンケートによるニーズ調査も行ったが、困っている方を直接支援している専門職・担い手からお困りの方の声を代弁してもらおう意味もあり、実施した。声にならないニーズを拾い上げるため、制度の狭間・縦割りを横断的に対応すべき内容、地域の助け合いのしくみづくりなどについて回答いただいた。

(2) 現行計画の整理・評価について

- ・事務局より資料3、4について説明

(3) 第3期品川区地域福祉計画構成(案)について

- ・事務局より資料5について説明
- ・菱沼委員長より補足説明

計画の大まかなイメージを共有するために、今回示した。

区民の方に手に取っていただき、読みやすくするためにはどういった内容が良いかご意見があればいただきたい。ページ数の制限もあるが、まずは自由にご意見をいただきたい。

(質疑応答)

委員：

第2期地域福祉計画では、施策の柱に「情報」項目があった。利用者本人の同意を取るなど一定の調整は必要だが、行政の関連事業については、これからも必要な情報共有ができるようになる方が良い。現代では、個人情報管理を過剰に捉える場面も多くあるが、その利用者にとって適切な対応をするために必要な情報共有を引き続き進めてもらいたい。

また、計画書の概要版を作成する予定はあるか。

菱沼委員長：

施策の柱は本日イメージを持ってもらうために例示したものである。これからいただく意見交換も踏まえて再度検討する予定である。

いただいた「情報」というキーワードは、情報のバリアフリーといった観点での記載も考えられる。情報弱者の方への対応として、情報提供、取得の方法の工夫なども検討していく必要がある。

事務局：

概要版も作成する予定である。

委員：

現行計画と本日の報告を受けて、現行計画で「横断的な取り組みを推進する」という内容が大切だと思われるが、報告資料では各事業の結果報告にとどまり、横断的な視点が見られない。新計画の施策の体系に「包括的支援の推進」という書き方があり、「横断的」、「包括的」と、言葉の使い方が異なってきているがどういう意味で使っているか、きちんと整理して示した方が良い。

また、NPO と行政の関係性について、これまでの計画で「共助」となっていた部分はどのあたりに盛り込まれるか。

事務局：

現行計画でも「横断的」「包括的」の視点を捉えながら進めてきた。国の法改正もあり、さらにそれらを進めていくことが計画全体の大きなテーマになると想定している。そうしたことから、この策定委員会も各方面の分野のお立場のみなさまにご出席いただいている。

共助についての掲載箇所については現時点で決まっておらず、各章に通じて関係するかと思われる。記載については明言できないが、計画全体に通底するテーマと捉えている。

菱沼委員長：

ここで、一部を終了とする。

<第2部>

5. グループ意見交換

菱沼委員長:

ここからは意見交換として、地域の助け合いのしくみについて、みなさんからテーマの希望をいただいて、グループを割り振らせてもらった。より深くテーマに沿ったご意見をいただきたい。

事務局:

資料6について説明(意見交換参考資料)

意見交換テーマ別の資料としており、テーマは「見守り・声かけ」、「地域交流」、「生活支援」、「市民学習・理解促進」の4つである。各テーマについて、これまでいただいていた意見、関連する区・社協等の施策・事業、今後の課題という3つの項目で構成したシートである。

菱沼委員長、事務局:

意見交換のルール説明

・意見交換・発表（別紙まとめ参照）

6. その他

次回日程 10月4日(木)15:00~17:00

以上